

株主の皆様へ

既存事業における収益基盤の再構築と
新規事業の早期立上げに取り組み、
収益の改善、持続的な成長と中長期的な
企業価値の向上を図ってまいります。

代表取締役社長
嶋山 芳夫



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第122期上半期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の決算を行いましたのでご報告申し上げます。

経営環境について

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、社会・経済活動は緩やかな回復基調が見られたものの、物価上昇の長期化や地政学的リスクなどの懸念により、依然として先行きは不透明な状況にあります。

印刷業界におきましては、生活様式の変化ならびにデジタル化の進展による紙媒体の需要減少に加え、原材料費や燃料費などの高騰が継続し、依然として厳しい状況が続きました。

業績について

印刷事業は前年並みの売上高を維持したものの、電子部品製造事業で水晶関連業界の売上高が減少したことを受け、売上高は69億81百万円(前年同期は70億

96百万円)となりました。損益面においては、印刷事業の包材関連を中心に原材料費や燃料費の高騰に対する価格転嫁が想定より遅れ、営業損失1億25百万円(前年同期は1億57百万円の損失)、経常損失56百万円(前年同期は1億23百万円の損失)となりました。特別利益として川越工場の商業印刷の生産機能を狭山工場へ移転・集約するに当たり売却した老朽化設備等の固定資産売却益1億5百万円を計上し、特別損失として同移転関連費用等87百万円を計上しました。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純損失76百万円(前年同期は2億78百万円の損失)となりました。

取り組みについて

印刷事業の営業面においては、利益に影響を及ぼす諸資材価格やエネルギー価格の高騰に対して引き続き製品価格の改定・価格転嫁を進めてまいります。生産面においては、グループ全体のオフセット印刷の生産性を高めるため、川越工場の商業印刷の生産機能について狭山工場への移転・集約を進めております。印刷工程に

については8月までに移転・集約が完了し、稼働を開始しました。加工工程については2023年12月までに移転・集約を完了する予定です。ビジネスフォーム、パッケージを含め、生産拠点を狭山工場へ集約・統合し、グループ一体となって生産性向上とコストダウンを図り、収益基盤の再構築と収益の改善に努めてまいります。

また、新規事業として、スクリーン印刷機の製造販売を事業内容とする株式会社桜井グラフィックシステムズと業務提携し、スクリーン印刷機を使用して半導体加工テープなどの産業資材を製造する事業を開始します。那須工場を生産拠点とし、2024年の早期立上げに向けて準備を進めております。

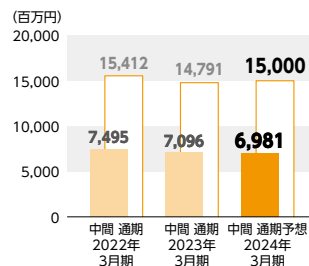
今後の見通しについて

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高150億円、営業利益1億50百万円、経常利益2億円、親会社株主に帰属する当期純利益1億50百万円としております。また、期末配当予想につきましては、1株あたり50円としております。

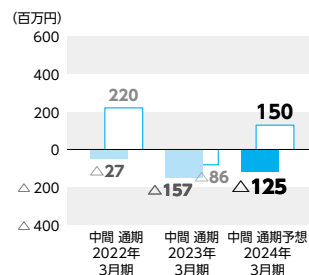
当社グループは、生産拠点の集約・統合による生産性向上を基軸とし、既存事業における収益基盤の再構築ならびに新規事業の早期立上げに取り組み、収益の改善、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

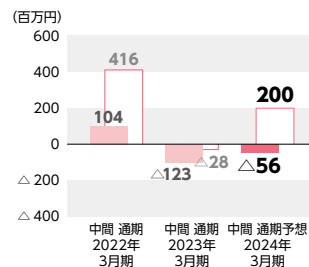
売上高
6,981
百万円



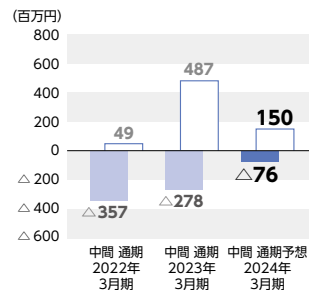
営業利益
△125百万円



経常利益
△56百万円

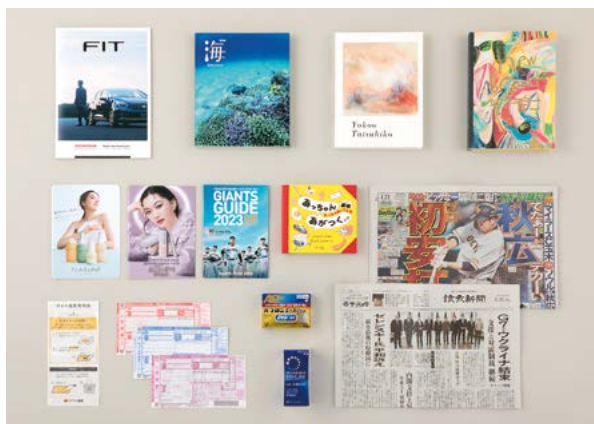


親会社株主に
帰属する中間純利益
△76百万円



セグメント別事業報告

印刷



当事業では、宣伝用印刷物や新聞・出版、伝票、パッケージ、厚紙封筒、映像制作などを扱っております。パッケージ等の増加があったものの、出版印刷物等の減少があり、売上高は66億18百万円(前年同期は66億43百万円)となりました。原材料費の高騰が継続しており、営業損失は2億95百万円(前年同期は3億37百万円の損失)となりました。

不動産賃貸等

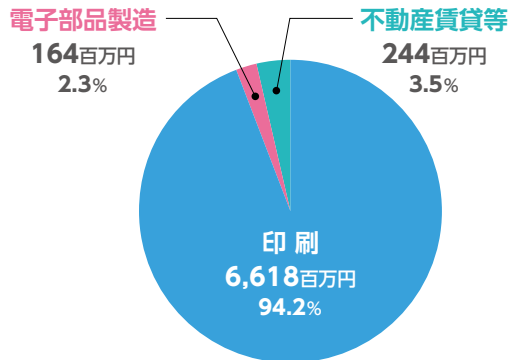
当事業では、本社ビル等の不動産賃貸や太陽光発電の事業を扱っております。売上高は2億44百万円(前年同期は2億46百万円)、営業利益は1億73百万円(前年同期は1億83百万円)となりました。

電子部品製造



当事業では、エレクトロニクス分野で使用されるエッチング精密製品などを扱っております。水晶関連業界の売上高が減少したことにより、売上高は1億64百万円(前年同期は2億61百万円)、営業損失は3百万円(前年同期は3百万円の損失)となりました。

売上高構成比



産業資材製造事業について

7月27日付で発表した新規事業についてご紹介いたします。

この度、当社はスクリーン印刷機を製造する株式会社桜井グラフィックシステムズと業務提携し、同社のスクリーン印刷機を使用して半導体加工テープなどの産業資材品を製造する事業を開始します。生産拠点を那須工場に置き、2024年の事業開始に向けて準備を進めています。

スクリーン印刷は、オフセット印刷とは異なり、導電・絶縁などの機能性インキを用いることでプリンタブルエレクトロニクス分野を始め、様々な分野への幅広い成長可能性を秘めています。まずは半導体に関連する製品から事業を開始する予定ですが、当社が長年積み上げてきた印刷技術と顧客基盤を活かし、お客様の様々なニーズに応える製品を提供してまいります。



株主優待カレンダーのご紹介

「現代の視点」をテーマに、現在活躍するアーティストを取り上げる当社のカレンダー。コーポレートメッセージである「ともに作り、ともに伝える。」を体現し、作家の想いを印刷で再現し、お使いいただく方々に「アートとの出会いの場」をご提供する企画です。

シリーズ第四弾となる2024年版は、美術家の津上みゆきさんをお迎えしました。一見すると抽象絵画にも見える作品は、実際の風景から要素を再構成して生み出されています。スケッチした場所と時の記憶をとじこめたような、作家独自の「風景画」の世界をご堪能ください。

カレンダーは9月30日現在、1単元株以上をご所有の株主様へ12月中旬以降、順次お届けする予定です。



会社概要 (2023年9月30日現在)

商号	光村印刷株式会社
創業	1901年10月20日
設立	1936年12月21日
資本金 <small>(資本剰余金を含む)</small>	100億57百万円
従業員	425名 (連結662名)

事業所



本社

本社

〒141-8567
東京都品川区大崎
一丁目15番9号
電話：03-3492-1181 (代表)

大阪支店

〒541-0042
大阪市中央区今橋
二丁目2番17号
グロース北浜ビルディング3階
電話：06-6229-5120

川越工場

〒350-1165
埼玉県川越市南台
一丁目1番地1
電話：049-242-4025



狭山工場

〒350-1331
埼玉県狭山市新狭山
一丁目3番6号
電話：04-2955-1018



那須工場

〒324-0036
栃木県大田原市下石上
1378番7



坂戸事業所

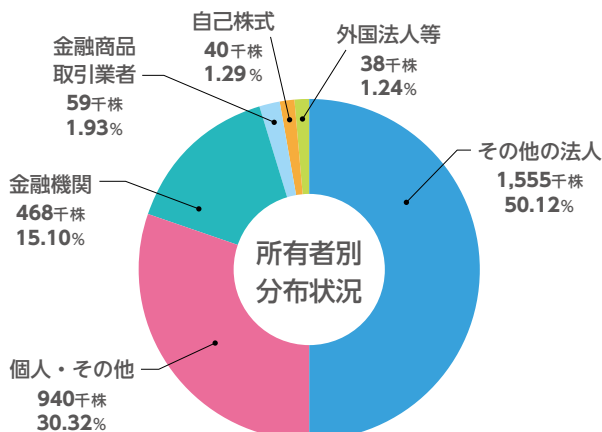
〒350-0214
埼玉県坂戸市千代田
五丁目3番17号
電話：049-227-6764

関係会社

新村印刷株式会社
株式会社光村プロセス
株式会社城南光村
光村商事倉庫株式会社
株式会社メディア光村
株式会社大洲
群馬高速オフセット株式会社

株式情報 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	9,947,800 株
発行済株式の総数	3,103,420 株
単 元 株 式 数	100 株
株 主 数	2,663 名



大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱製紙株式会社	511	16.71
DIC株式会社	457	14.92
株式会社読売新聞グループ本社	224	7.33
株式会社三菱UFJ銀行	112	3.68
株式会社SCREENホールディングス	100	3.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	89	2.92
株式会社十六銀行	66	2.17
光村印刷役員持株会	51	1.69
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	50	1.65
三菱HCキャピタル株式会社	48	1.59

(注) 1. 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

2. DIC株式会社の所有株式は、同社が退職給付信託の信託財産として拠出しているものです。(株主名簿上の名義は、「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・DIC株式会社口)」です。)

株式事務のご案内

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
剰余金配当の基準日 3月31日及び中間配当の支払を行うときは9月30日

定時株主総会の基準日 3月31日

定時株主総会の開催 毎年6月

公告の方法

電子公告

(<https://www.mitsumura.co.jp/>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

電話 0120-232-711 (通話料無料)

【郵送先】〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号

特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

同連絡先

三井住友信託銀行株式会社

証券代行部

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話0120-782-031 (通話料無料)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座を開設されている証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



UD
FONT



光村印刷株式会社 [東証スタンダード：7916]

〒141-8567 東京都品川区大崎 一丁目 15 番 9 号

〈ホームページ〉

<https://www.mitsumura.co.jp/>

右記の QR コードからもご覧いただけます。

